

TOPICS

### 刈谷市が来年4月から、高校生世代の通院費を無償化!

刈谷市が来年4月から高校生世代の通院医療費を無償化する方針のもと、対象となる約4,300人に申請書や受給者証を送るなどする費用約1,400万円を計上した一般会計補正予算案が市議会6月定例議会で可決されました。

一昨年3月日本へ帰国し、刈谷の街頭に立ち続ける中で、この高校生世代の通院費無償化を求める声が多かったです。それを受け、自らの重点取組項目の1つとして掲げました。今回の稲垣武刈谷市長のご英断に感謝いたします。



私は、これまでの他政策と同様、制度の対象となった刈谷市民の声を聴いた上、愛知県議会での必要性を訴え、愛知県全体に拡げていけるよう走り続けてまいります!

BESIDE YOU!

あなたに寄り添う政策を!

題字：細井真司

ほそい しんじ  
愛知県議会議員 細井 真司

県政  
レポート  
Vol.7  
2024年 夏号

発行：細井真司事務所  
〒448-0857  
刈谷市大手町2-29 INOビル3F-B  
TEL 0566-23-4366 FAX 0566-27-2128

今年も暑い夏がやってまいりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。今回のレポート発行が、万燈祭の時期と重なりました。約250年の歴史を有する刈谷を代表する夏祭りの1つ、万燈祭。今年も地域の皆さまと盛り上げてまいります! 市内の各地区公民館にて盆踊り大会も始まっております。水分補給などの暑さ対策を十分に行い、みんなで楽しい時間を過ごしましょう!



profile (第5回)

2002年9月から6年間、デンソー労働組合の執行部に在籍。情報宣伝担当から始まり、賞金・一時金、労働時間といった労働諸条件の向上に向けた役割を幅広く担当。トヨタはじめ車両メーカーの生産台数が急拡大した時期で、職場は大変な忙しさ。その中でPDCAサイクルを回し続け環境改善を図った経験が、今の仕事にも活かしています!

### 令和6年6月 定例議会

[6月定例議会開催日]  
6月14日(金)  
~7月3日(水)

#### 建設委員会 6月26日(水)

#### 現在整備中の、県道小垣江安城線バイパスの1日も早い開通を要望!

多くの市民の皆さまからご指摘をいただき、朝夕の時間帯を中心とした名豊道路・西中ICの慢性的な大渋滞。国道419号線の1車線が常に使えなくなっている状況です。今年度は名豊道路の全線開通を予定しており、名古屋市内から浜松市内まで、実に約100kmに及ぶ長い区間が「信号ゼロ」でつながることになります。それにより西中IC周辺の渋滞に拍車がかかる恐れがあります。そこで渋滞対策として、県道小垣江安城線バイパスを整備し、西中ICではなく、高棚北ICからの名豊道路合流を促し、交通量を分散させる必要があります。そうすることで依佐美工業団地の各企業との物流ネットワーク構築にも寄与します。今回の建設委員会で、整備中である県道小垣江安城線バイパスの進捗状況と今後の取り組みを確認しました。



#### 建設局の答弁

県道小垣江安城線バイパスについて、刈谷市内の国道419号線までを結ぶ全長約1.9キロメートル区間において4車線のバイパスを整備中。今年度は、引き続き残る用地買収に努めるとともに、道路築造工事のほか、交差する現道の小垣江安城線や市道の付替工事を進め、早期開通を目指す。

名豊道路が全線開通することで、依佐美工業団地をはじめとした産業集積地からのアクセスなど、補完する道路ネットワークの重要性は、ますます高まります!  
**私から、県道小垣江安城線バイパスの1日も早い開通を強く要望しました!**

細井 委員

### ほそい・まいんど

題字：細井真司

#### 災害時避難所で使用する段ボール備蓄品、刈谷市内全4県立高校への設置完了!

愛知県教育委員会に訴えた「市内県立高校への、災害時避難所で使用する段ボールベッド・間仕切り備蓄」について、5月末までに

現地を視察しました!



市内全4県立高校への設置が完了しました。(当件の経緯については、県政レポート第5号(24年4月号)P4をご覧ください)

6月4日、今年1月に視察した刈谷高校以外の3高校の設置状況を、連携した鈴木定晴刈谷市議と視察。間仕切り・ベッドの初動必要分が、それぞれ風通しの良い場所に保管されていることを確認しました。

引き続き段ボール品以外の避難所用備品管理や避難所の運営改善について取り組んでまいります!



刈谷東高校



刈谷北高校



刈谷工科高校

#### 地域の中に事務所を設置!

地域の皆さまとの交流を図り、声をお伺いするために、事務所を設置しております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

刈谷市内で街頭活動もしています!



事務所(3F)

#### 細井真司事務所

住所：刈谷市大手町2丁目29 INOビル3F-B  
電話：(0566) 23-4366

活動などを発信しています!



Instagram



Facebook



ホームページ

# 令和6年6月 定例議会 **ご報告**

[ 6月定例議会開催日…6月14日(金)～7月3日(水) ]

## 一般会計補正予算案、条例関係議案などの25議案を集中的に審議し可決成立!

### 1 一般会計補正予算〈計4,382万余円〉

#### 1 「愛知県基幹的広域防災拠点」の整備推進

##### 事業内容

第1期として中核施設である消防学校の整備及び運営を行うため、アドバイザー契約を締結し事業者の選定手続きを進める。



##### 想定スケジュール

	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度～
公募準備 公募手続き	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月 実施方針の公表(BTO方式※)</li> <li>2月 入札公告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月 入札、提案書受付</li> <li>9月 落札者の決定 および 公表</li> </ul>				
設計・建設 運営・維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドバイザー業務 事業費検証、マーケットサウンディング、公募手続きなど</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>12月 特定事業契約の締結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計・建設(約3年)</li> <li>完成予定</li> <li>運営・維持管理</li> </ul>

※ BTO (Build Transfer Operate) 方式  
民間が建設・資金調達を担って、完成後は所有権を公共に移転し、その後は一定期間、運営を同一の民間に委ねる方式

#### 2 愛知の「発酵食文化」の魅力を国内外へ発信し、外国人観光客の誘致推進

##### 愛知「発酵食文化」振興協議会について

設立：2024年5月1日

会長：愛知県知事

構成員：有識者、業界団体、自治体、商工・観光団体など計95名(5月1日現在)

##### 協議会事業内容

- 調査・事業計画策定
- シンポジウム開催
- 展示会への出展
- モニターツアー・体験会の開催
- Webサイト制作



国内はもとより  
海外に発信する取り組みを推進し、  
愛知の認知度を高め、  
世界から多くの人を呼び込みます!



### 2 条例関係議案など

##### 主な案件

- **愛知県立学校条例の一部改正**  
来年4月開設のフレキシブルスクールの受講料の額を定める内容など。
- **愛知県県税条例及び愛知県産業廃棄物税条例の一部改正** など

「フレキシブルスクール」とは  
全日制・昼間定時制・通信制の3課程を  
一つの学校内に置き  
不登校経験者など多様なニーズを持つ生徒が  
自分のペースに合わせて課程間を  
フレキシブルに行き来して学べる学校です。  
県内4カ所に設置予定です。



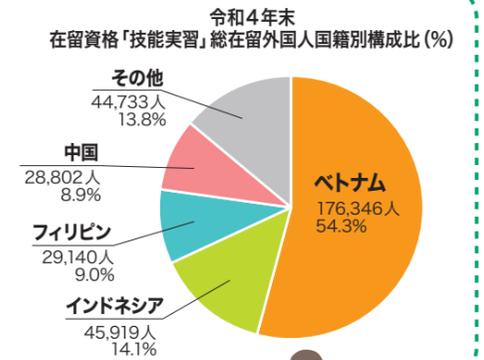
細井

### 3 代表質問のポイント

私が昨年12月一般質問で取り上げた、介護のための外国人人材確保に向けた取り組みの件を紹介いたします。あいち民主県議団による代表質問で、大村秀章愛知県知事が新たな取り組みを進めることを表明されました。

##### ▶ 昨年12月定例議会での質問

現在人手不足が深刻化している介護分野で外国人採用のニーズが高まっている。一方、私が5年間駐在した台湾では「就労条件」「就労環境」に加え、昨今の円安により「待遇」でも日本より優位となり、外国人介護士が台湾に流れる懸念あり。愛知県が近隣諸国、また国内の都道府県との人材獲得競争で優位に立つため、外国人就職支援にどのように取り組むのかを質問。



##### 今定例議会での代表質問

あいち民主県議団  
安井伸治総務会長  
(港区選出)

##### 質問

本県において、外国人介護人材の受入及び定着に向けてどのように取り組んでいくのか、知事の見解を伺う。



##### 答弁

- 将来に亘って介護サービスを安定的に提供するためには、外国人介護人材の受入を着実に進めていくことが重要。
- これまで、受入を検討している介護施設を対象としたセミナー開催や、介護福祉士の資格取得に向けた日本語や介護技術の学習支援に取り組む介護施設に対する助成などにより受入後の定着支援を進めてきた。
- さらに今年度の新たな取り組みとして、受入施設が行う、現地の文化・風習などを把握したりする事前調査や、日本語学校での説明会の開催など、マーケティングや広報活動などの費用に対し助成を始めることとし、受入体制を強化する。



大村秀章  
愛知県知事

私は昨年12月、現地での自らの経験・気づきをもとに質問をさせていただきました。今回、外国人受入施設が、現地の事情を把握・理解する取り組みを支援する愛知県の施策は、まさに私が大切にしてきた「現地・現物」を体現する内容であり、自らの思いを汲んでいただけたものと捉えております!

